

葉シンポジウム, 1980. 8, 富山.

9) Hiai S. and Oura H.: Stimulation of Pituitary-adrenocortical System by Ginseng Saponin, The 3rd Intern. Ginseng Symposium, 1980. 9, Seoul.

10) Nagasawa T., Oura H., Choi J. H., and Bae H. W.: Application of High-performance Liquid Chromatography to the Isolation of Ginsenosides from Ginseng Saponins, The 3rd Intern. Ginseng Symposium, 1980. 9, Seoul.

11) 西澤 信, 山岸 喬, 野中源一郎, 西岡五夫, 長澤哲郎, 大浦彦吉: 生薬中のガロタンニン構造と分布と活性一, 第23回天然有機化合物討論会, 1980. 10, 名古屋.

病 態 生 化 学

教 授 荻 田 善 一
助 教 授 中 島 松 一
助 手 山 村 研 一
文部技官 林 和 子

◆ 著 書

1) 荻田善一: 人類遺伝学の新しい展開「遺伝学」80(5): 103-106, モダンメディシン, 1980.

2) 荻田善一: 遺伝医学 期待される体細胞遺伝学 80(6): 79-84, モダンメディシン, 1980.

3) 荻田善一: 遺伝と代謝異常, 分子病 I, 7-28, 永井書店, 1980.

4) 荻田善一: 臨床検査値の個体差をどう考えるか 24(13), 1646-1655, 医学書院.

◆ 原 著

1) 荻田善一, 林 眞一, 林 和子: 毛根を試料とする GM₂-ガングリオシドーシス診断法の確立, 日本臨床代謝学会誌, 200-201, 1980.

2) 荻田善一, 磯部正治, 岩橋寛治, 片山和信, 有馬正高, 河野恭義: 毛根を試料とする痛風体質診断法の確立, 日本臨床代謝学会誌, 202-203, 1980.

3) 長田尚夫, 井上武夫, 平野昭彦, 田中一成, 荻田善一, 磯部正治, 林 眞一: Adenine phosphoribosyltransferase 完全欠損による 2, 8-dihydroxyadenine 結石症例, 臨床泌尿器科 34(10): 981-984, 1980.

4) 荻田善一, 金 溶奎, 岩橋寛治, 安光英太郎: 電気泳動法によるジャコウの男性ホルモン様作用の解析, 生物物理化学 24(1): 20, 1980.

5) 荻田善一, 宇田川千恵子: LDHサブバンド

の後成的修飾機構の電気泳動法的解析, 生物物理化学 24(1): 50, 1980.

6) 片山和信, 荻田善一: Across 電気泳動法による泳動条件の決定法, 生物物理化学 24(1): 96, 1980.

7) 荻田善一, 林 眞一, 林 和子: N-acetyl- β -hexosaminidase isozyme の遺伝生化学的研究, 日本人類遺伝学雑誌 25: 146, 1980.

8) 荻田善一, 磯部正治, 林 眞一, 岩橋寛治: 痛風体質の生化学的異質性の解明, 日本人類遺伝学雑誌 25: 147, 1980.

9) 荻田善一, 宇田川千恵子, 窪田博道, 窪田裕子, 片山和信, 岡田正俊, 広瀬三智子: Mixed gonadal dysgenesis の疑われる 1 症例, 日本人類遺伝学雑誌 25: 174-175, 1980.

10) 中島松一, 金田 平, 高津聖志: 梅毒性・柴胡抽出物のマウス IgE 抗体産生抑制効果, Proc. Symp. WAKAN-YAKU 13: 43, 1980.

◆ 翻 訳

1) Susumu Ohno 著: 赤塚 章, 荻田善一訳, 哺乳動物遺伝子の介在配列の起源とその介在配列除去の普遍的シグナル, 81-107, 遺伝と医学II, 共立出版, 1980.

◆ 学会報告

1) 荻田善一, 林 眞一, 林 和子: 毛根を試料とする GM₂-ガングリオシドーシス診断法の確立, 日本臨床代謝学会, 1980. 1, 大阪.

2) 荻田善一, 磯部正治, 岩橋寛治, 片山和信, 有馬正高, 河野恭義: 毛根を試料とする痛風体質診断法の確立, 日本臨床代謝学会, 1980. 1, 大阪.

3) 荻田善一, 磯部正治: 柴胡成分のプロテアーゼ活性化機構に及ぼす影響について, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

4) 金 溶奎, 荻田善一: ジャコウによって誘導されるマウス腎エステラーゼ, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

5) I. J. Fox, M. S. Sy S. Nakashima B. Benacerraf M. I.: Greene Impairment of antigen presenting cell function by ultraviolet radiation FASEB, 1980. 4, Anaheim.

6) 山崎弘美, 中西颯央, 荻田善一: アルデヒド脱水素酵素のアガロースゲル薄層電気泳動法による解析 電気泳動学会, 1980. 6, 東京.

7) 片山和信, 荻田善一: テトラゾリウムによる脱水素酵素染色法阻害因子の電気泳動法解析, 電気泳動学会, 1980. 6, 東京.

8) 荻田善一, 磯部正治, 林 眞一, 長田尚夫:

毛根を試料とするプリン代謝系酵素の微量電気泳動法による解析, 電気泳動学会, 1980. 6, 東京.

9) 磯部正治, 荻田善一: 柴胡成分のプロテアーゼ活性化機構に及ぼす効果の電気泳動法的解析, 和漢薬シンポジウム, 1980. 8, 富山.

10) 金 溶奎, 荻田善一: ジャコウ成分の生理的効果, 和漢薬シンポジウム, 1980. 8, 富山.

11) 荻田善一, 磯部正治, 宇田川千恵子, 関口豊三: ラット・マウス再構成細胞における遺伝子発現機構, 日本遺伝学会, 1980. 10, 富山.

12) 荻田善一, 磯部正治, 林 眞一: 毛根によるプリン代謝系酵素異常の電気泳動法的解析, 日本遺伝学会, 1980. 10, 富山.

13) 荻田善一: 「証」の薬理遺伝学的研究, シンポジウム「天然医薬品開発のための総合研究, 1980. 10, 京都.

14) 片山和信, 荻田善一: スーパーオキシドジスムターゼの電気泳動法的解析, 電気泳動学会, 1980. 11, 米子.

15) 金 溶奎, 荻田善一: ジャコウによって誘導される arginine peptidase の電気泳動法的解析, 電気泳動学会, 1980. 11, 米子.

化 学 応 用

教 授 菊 池 徹
助 教 授 金 岡 又 雄
助 手 門 田 重 利

◆ 原 著

1) Kikuchi T., Niwa M., Takayama M., Yokoi T. and Shingu T.: Studies on the Neutral Constituents of *Pachisandra terminalis* SIEB. et ZUCC. VII. Structures of Acid-induced Rearrangement Products of 16-Keto-friedelin-3-ene. *Chem. Pharm. Bull.* 28: 1999–2007, 1980.

2) Kikuchi T., Yokoi T., Niwa M. and Shingu T.: Application of the Homonuclear Double Resonance Technique in the Triterpene Field. II. Assignments of Methyl Resonances of Triterpenes related to Friedelin. *Chem. Pharm. Bull.* 28: 2014–2023, 1980.

3) 中野直子, 加藤弘己, 鈴木英彦, 中尾皖英, 矢野三郎, 金岡又雄: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法 (第1報) — グリチルレチン酸の酵素免疫測定法, 薬理と治療 8: 4167–4170, 1980.

4) 中野直子, 加藤弘己, 鈴木英彦, 中尾皖英, 矢野三郎, 金岡又雄: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法 (第2報) — 血中グリチルレチン酸, グリチルリチンの測定, 薬理と治療 8: 4171–4173, 1980.

◆ 学会報告

1) 菊池 徹, 門田重利, 柳田一夫, 渡辺和夫, 吉崎正雄: 辛夷 (タムシバ) の成分研究(3) 中性成分の検索と新ネオリグナン, magnosalin の構造, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

2) 菊池 徹, 門田重利, 末原 久, 難波恒雄: 一点癢 (*Nervilia purpurea* および *Nervilia aragana*) の成分研究(2) トリテルペンについて, 日本薬学会第100年会, 1980. 4, 東京.

3) 菊池 徹, 門田重利, 柳田一夫, 渡辺和夫, 吉崎正雄, 木村正康: 辛夷 (タムシバ) の成分研究, 第14回和漢薬シンポジウム, 1980. 8, 富山.

4) 菊池 徹, 門田重利, 末原 久, 難波恒雄: 一点癢 (*Nervilia purpurea* および *Nervilia aragana*) の成分研究(3) 新トリテルペンアルコール cyclonervilol について, 日本薬学会北陸支部会第50回例会, 1980. 6, 富山.

5) 難波恒雄, 菊池 徹, 門田重利, 御影雅幸, 小松かつ子, 清水岑夫, 富森 毅: スリランカにおける天然薬用資源の研究 (第1報), セイロンケイヒについて, 日本生薬学会第27回年会, 1980. 9, 名古屋.

6) 菊池 徹, 門田重利, 末原 久, 難波恒雄: 一点癢の新トリテルペン, サイクロネルピロールおよびサイクロホモネルピロールの構造, 第23回天然有機化合物討論会, 1980. 10, 名古屋.

7) 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘己, 中野直子: Glycyrrhetyl amino acid-Bovine Serum Albumin 複合体の作製について, 日本薬学会北陸支部会第50回例会, 1980. 6, 富山.

8) 中野直子, 加藤弘己, 鈴木英彦, 中尾皖英, 矢野三郎, 金岡又雄: グリチルレチン酸およびグリチルリチンの酵素免疫測定法に関する研究, 第14回和漢薬シンポジウム, 1980. 8, 富山.

9) 金岡又雄, 吉崎正雄, 近藤誠三, 藤野広春: 栝楼根および王瓜根の研究 — エーテル可溶成分について, 日本生薬学会第27回年会, 1980. 9, 名古屋.